

※ 申請者が破産者の場合の5条届出の記載例

正 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書 令和 年 月 日						
川崎市農業委員会会長 様						
(法人の場合の記載例) ○○○株式会社 代表取締役 ○○○○ (個人の場合の記載例) 高津 一郎						
譲受人 譲渡人 破産者 ○○○○ 破産管財人 ○○○○						
下記によって転用のための農地(採草放牧地)の権利を設定、移転したので、農地法第5条第1項第7号の規定によって届出ます。						
1 当事者の氏名、住所及び職業	当事者の別	氏名	郵便番号	住所	連絡先電話	
	譲受人	上記「譲受人」について記入				
	譲渡人	破産者○○ 破産管財人○○	「破産管財人」について記入			
2 土地の所在、地番、地目及び面積並びに所有者及び耕作者の氏名、住所	土地の所在	地番	地目 登記簿 現況	面積 ㎡	土地所有者 氏名・住所	耕作者 氏名・住所
	川崎市高津区 梶ヶ谷2丁目	1-71	畑	170	破産者の氏名・住所を記入 (登記簿上の所有者を記入)	現況が田・畑の場合は「耕作者」を記入 (耕作者がいない場合は「なし」と記入) 現況が田・畑以外の場合は「なし」と記入
	川崎市高津区 梶ヶ谷2丁目	1-72	田	130		
	以下余白					
				実際の現況を記入 (畑、田、宅地、雑種地等)		
計	300 ㎡(田 130 ㎡・畑 170 ㎡)					
3 権利を設定、移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定移転の別	権利の設定移転の時期	権利の存続期間	その他	
	所有権 賃借権 使用借権	→移転 →設定 →設定	時期の「年月日」 または「受理後」	年月日から永久 受理後から永久 (賃借権の場合はその期間)		
4 転用計画	転用目的	共同住宅 自己住宅 駐車場 等				
	転用の時期	工事着工時期	具体的な年月日 又は 受理後	工事完了時期	具体的な年月日 又は 受理後○ヶ月	
	転用の目的に係る事業又は施設の概要					
5 転用することによって生ずる付近の農地、作物等の被害の防除施設の概要	(被害が生じない場合) 「特になし」と記入		(記載例) 共同住宅・・・鉄筋コンクリート○階建て ○世帯、延床面積○㎡ 自己住宅・・・木造○階建て ○棟 延床面積○㎡ 駐車場・・・砂利敷、アスファルト舗装、○台 公衆用道路・・・砂利敷、アスファルト舗装 資材置場・・・整地して使用します 等			
	(被害が生じる可能性がある場合) 被害の防除施設の概要等を具体的に記入 「コンクリートブロック擁壁H=2.0m」 「U字溝W=0.3m」等					

(添付書類)
通常の添付書類の他に以下の書類が必要となります。
・破産管財人であることを証明する書面

下記事項について該当するところに○印を記入してください。 必ず記入してください。

	当該農地について			
転用する農地の他法令等との関連について	1 生前一括贈与の適用 (うけている・うけてない)	4 生産緑地の指定 (うけている・うけてない)		
	2 相続税納税猶予の適用 (うけている・うけてない)	5 その他の指定 () (うけている・うけてない)		
	3 農業者年金経営移譲の適用 (うけている・うけてない)			